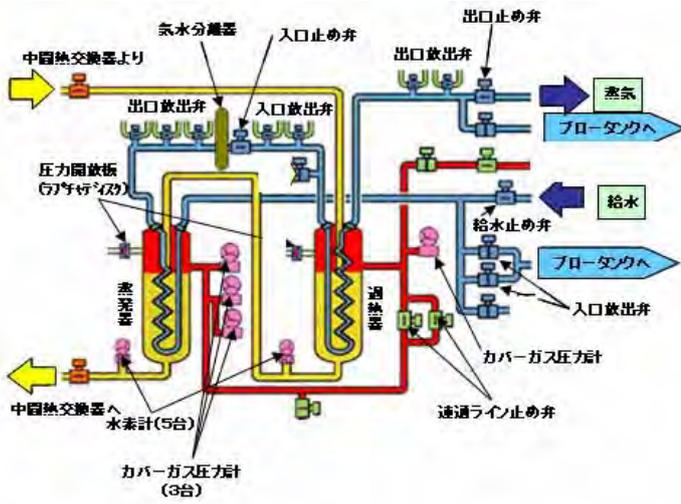


試験件名	蒸発器ブロー動作確認試験	当該試験の速報回数	1
試験目的	蒸気発生器伝熱管からの水漏えい時に、伝熱管内の水・蒸気のブローダウン(排水)が早期に完了できるように追加設置した蒸発器放出弁が、蒸発器カバーガス圧力高の模擬信号を入力することにより所定の圧力で作動することを確認する。		
試験範囲	蒸気発生器 B (蒸発器 B)		

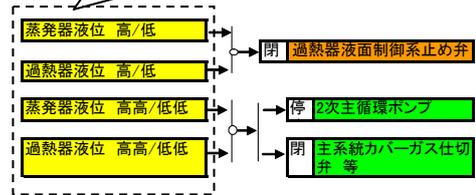
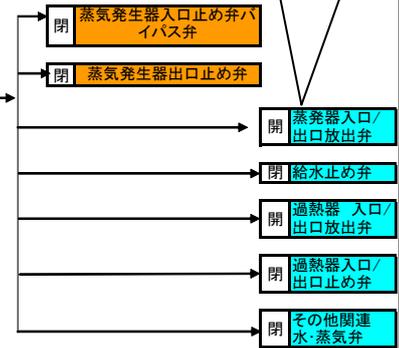
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1 インターロック試験	「蒸発器カバーガス圧力高」の模擬信号を入力し、蒸発器入口/出口の放出弁開及び給水止め弁閉等の警報・インターロックが正常に働くことを確認する。	模擬信号により、警報・インターロックが作動し、所定の設備(蒸発器入口/出口放出弁等)が正常に作動することを確認した。	平成 19 年 7 月 26 日 ～ 同 7 月 31 日 試験完了



蒸発器ブロー作動確認試験



蒸発器カバーガス圧力



試験現場風景

(インターロック試験)

今回の試験は B ループの蒸発器で実施した。試験方法は、7/23 に実施した C ループの場合と基本的に同じである(既報 KKS 速報 25 号)。

- 蒸発器カバーガス中に設置されている圧力計に圧力を加えて「蒸発器カバーガス圧力高」信号を発報させ、①蒸気発生器入口/出口止め弁の閉止実作動、②既設・追設を問わず蒸発器入口/出口放出弁(蒸気ブロー弁)の開放実作動、③給水止め弁、過熱器入口止め弁のインターロック信号(閉信号)のみの確認(水系は現在窒素封入保管されており弁の作動不可のため)を行った。

(「蒸発器液位高/低及び高高/低低」「過熱器液位高/低及び高高/低低」信号によるインターロック試験)

- 改造工事の一環として、蒸気発生器の水リーク早期検出のため「過熱器液位高及び高高」の設定値の変更も併せて行われた。試験では、これらの液位変化の模擬信号を現場盤から入力し、水リーク発生時の一連のインターロック動作を確認した。